

# 大学院生の教育スキル向上を主目的とした オンラインコミュニティの設立

文部科学省スキームD 第2回定例会

2022年2月7日

瀬崎 颯斗 正司 豪 明石 寛太

# チームメンバー紹介

---



瀬崎 颯斗

同志社大学 社会学部 教育文化学科 4年  
東京大学大学院 新領域創成科学研究科に進学予定



正司 豪

早稲田大学 人間科学部 教育工学専攻 4年  
早稲田大学大学院 人間科学研究科に進学予定

# チームメンバー・メンター紹介



明石 寛太

京都大学 教育学部 4年  
京都大学大学院 教育学研究科に進学予定



メンター：堀下恭平さん

株式会社しびっくぱわー 代表取締役

# 本日の流れ

---

1. 私たちの問題意識

2. これまでの取り組み

3. 今回お伺いしたいこと

# 1. 私たちの問題意識

突然ですが...

---

皆さんにご質問です！

# 大学院生の頃どんな生活を送っていましたか？

自宅と研究室を往復する毎日だった

とにかく研究に没頭していた

お金がなく仕事との両立で大変だった



# 教育に関するスキルをいつどこで身につけましたか？

大学教員になってからの研修(FD)

同僚・先輩からの指導で上達した

自分の受けてきた授業を思い出して  
見よう見まねで行った



おそらく今も昔も・・・

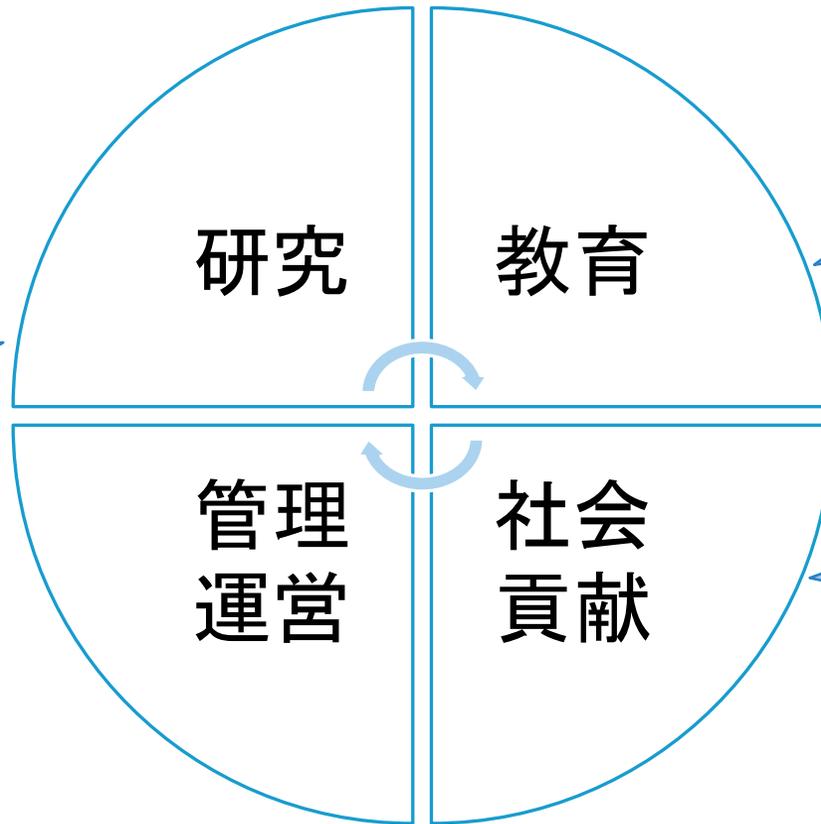
---

大学教員を志す大学院生の姿は

ほとんど変わらない？

# 大学教員の主な仕事

大学院教育でも業績評価でも  
最も重要視されている



教育業績評価の高まり  
教育経験・シラバス・模擬授業  
などから教育力が問われる

科学コミュニケーション  
研究の知見を社会に還元する

# 2018年大学院設置基準改定により・・・

---

## 大学院生のための教育研修(プレFD)

### 機会または情報提供の努力義務化

プレFDの導入率は、博士課程を有する大学の10%に満たない状況

# プレFDの先進的な事例と全国的な課題

## 東京大学「FFP & ミニレクチャプログラム」

毎年約100人の修了生  
公開セミナーでの実践機会

## 大阪大学「未来の大学教員養成プログラム」

基礎・応用・統合の段階的なキャリア開発  
修了生のネットワーク形成



多くのプレFDプログラムが、学内の大学院生に限られている。

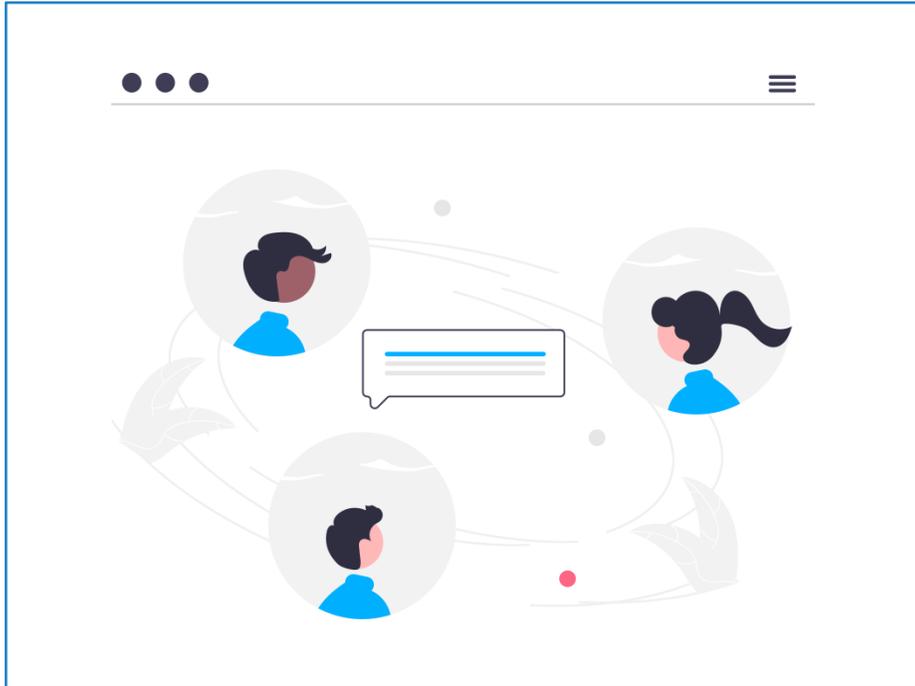
プログラムがない大学の大学院生は、体系的な研修・教育実践活動の機会がない。



日本全国の大学院生が参加できる  
オンラインコミュニティが必要ではないか？

# 大学院生の教育スキル向上を主目的とした オンラインコミュニティの設立

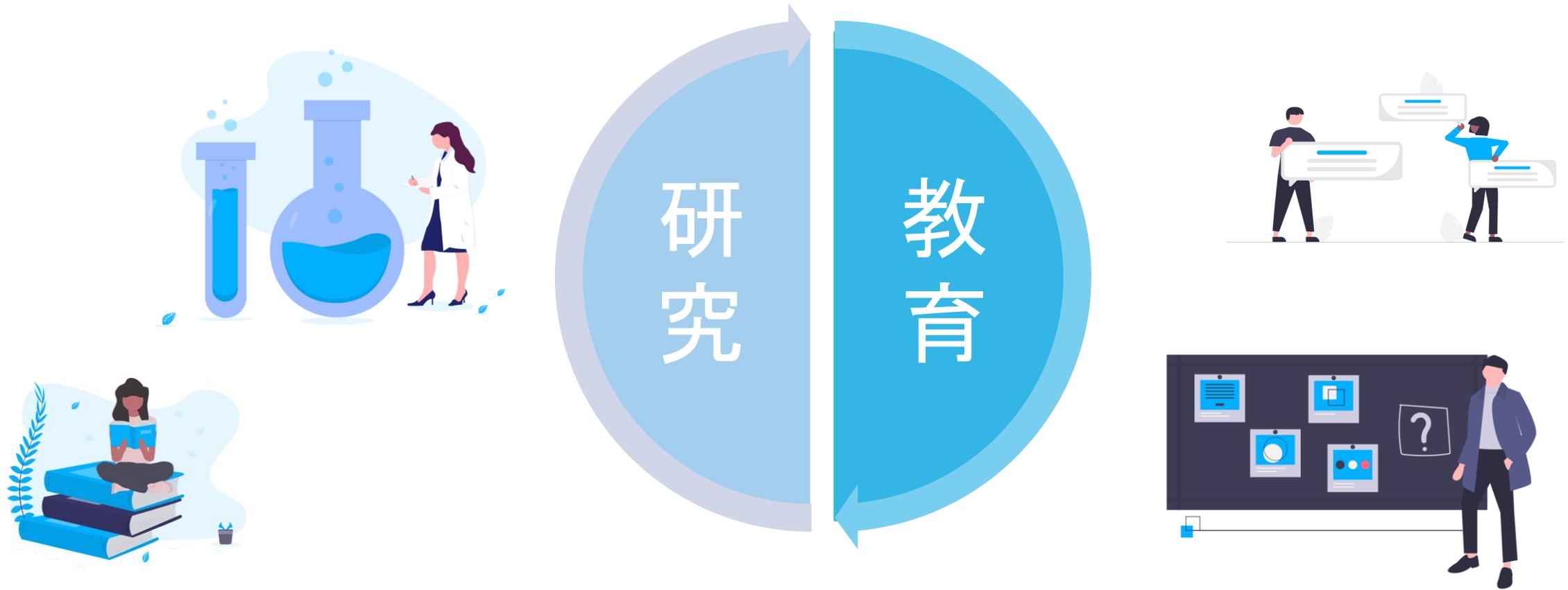
全国各地の大学院生のヨコのつながり



教育・学習に関するスキルの向上



# 研究と教育の好循環



## 2. これまでの取り組み

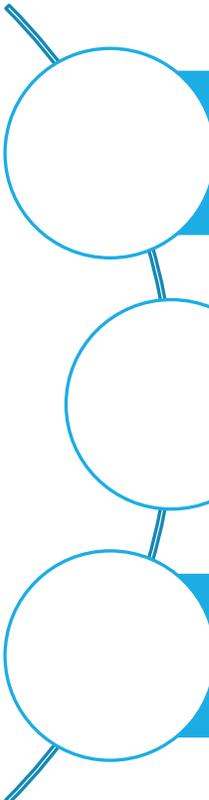
# これまでの取り組み

---



# これまでの3つの取り組み

---



教育に関する知識・スキルの習得

オンラインの公開セミナー

高校における探究学習の教材開発

# これまでの3つの取り組み

---

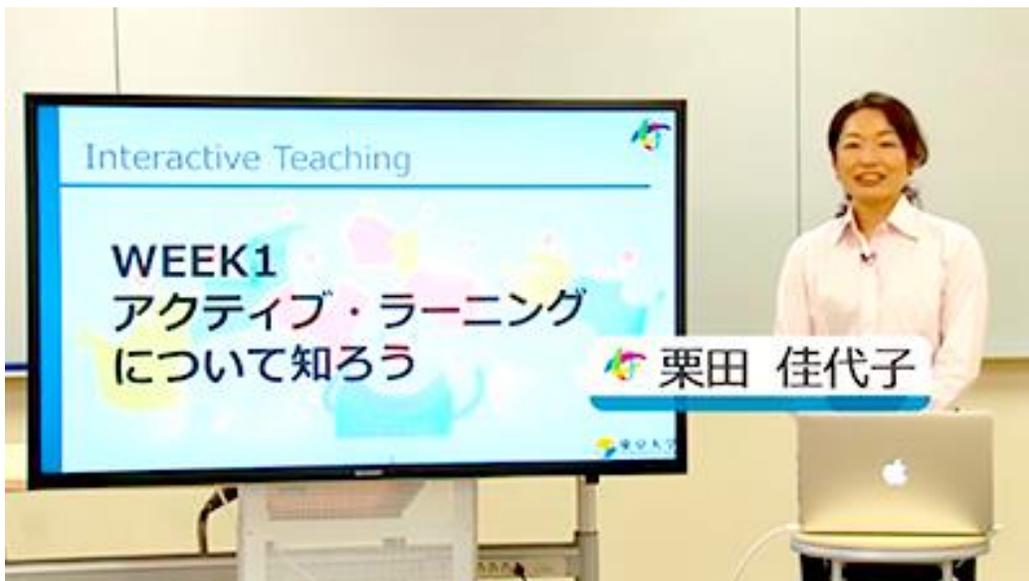
● 教育に関する知識・スキルの習得

○ オンラインの公開セミナー

○ 高校における探究学習の教材開発

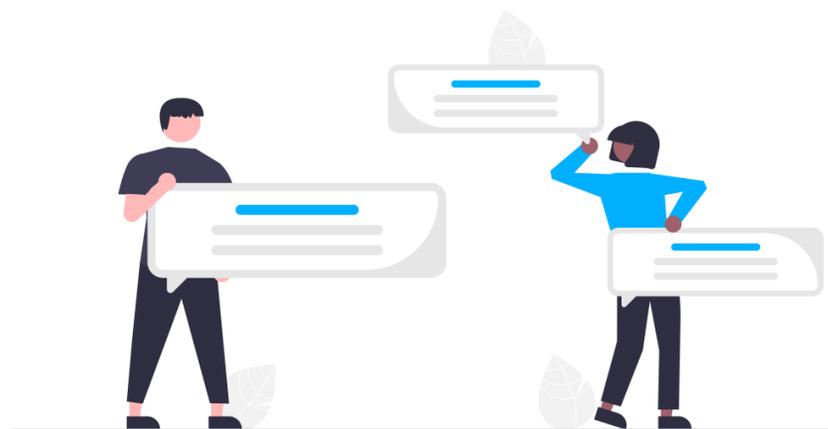
# 教育に関する知識・スキルの習得

専門家によるオンライン研修



東京大学「インタラクティブ・ティーチング」  
MOOCs (Coursera) での受講推奨・サポート

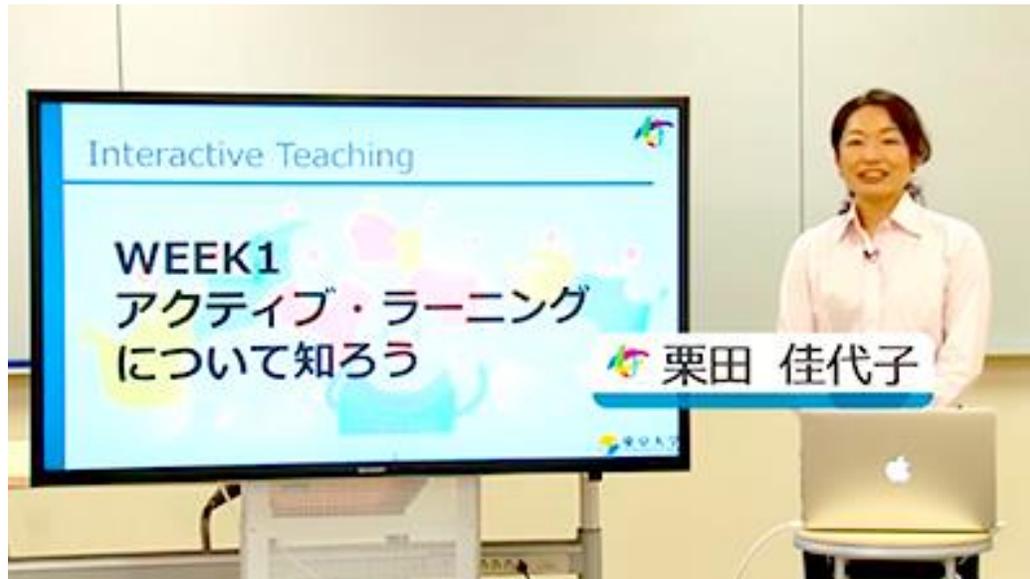
大学院生による相互のフィードバック



一人ひとりの専門性が活かされた授業  
初学者にもわかりやすく、面白い授業

# 教育に関する知識・スキルの習得

## 専門家によるオンライン研修



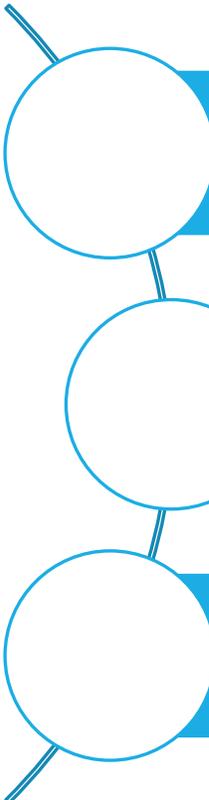
東京大学「インタラクティブ・ティーチング」

MOOCs (Coursera) での受講推奨・サポート

- 瀬崎・正司の2名が受講修了
- 授業作成を行う際のテキストとして活用
- ミーティングの冒頭で動画視聴

# これまでの3つの取り組み

---



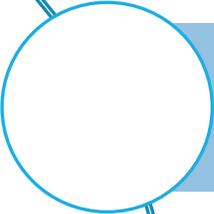
教育に関する知識・スキルの習得

オンラインの公開セミナー

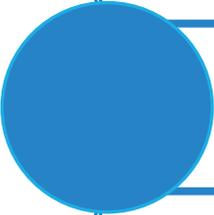
高校における探究学習の教材開発

# これまでの3つの取り組み

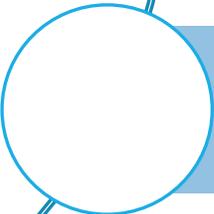
---



教育に関する知識・スキルの習得



**オンラインの公開セミナー**

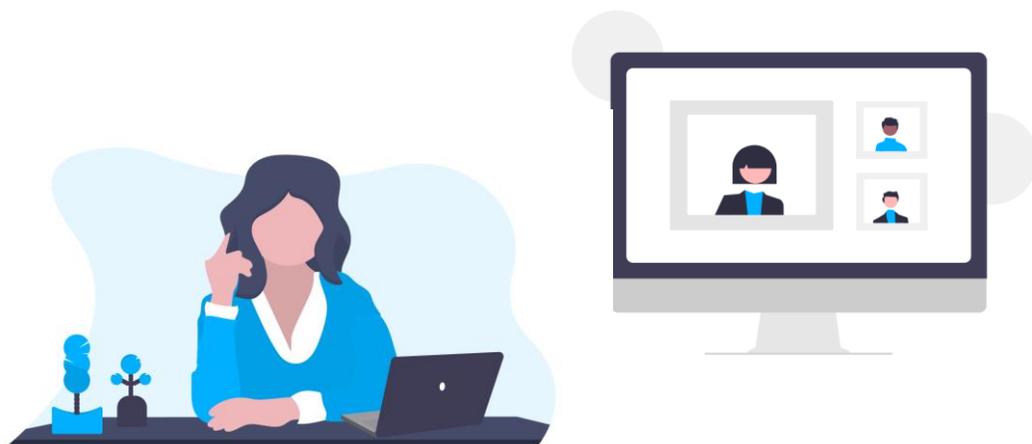


高校における探究学習の教材開発

# オンラインの公開セミナー

ICTの魅力を活かした双方向型授業

自身の研究内容・専門分野



例；

- 教育格差と大学進学
- 行動経済学とは何か？
- 夏目漱石の一生
- 宇宙はどのように誕生したか？
- 日常にあふれる数学の面白さ

オンライン環境での教育実践機会

# 1月に大学生対象のセミナーを開催

NPO法人ROJE関西 冬新歓イベント 

**大学で成長したい君へ！**  
～大学生活を豊かにする秘訣とは～

 **瀬崎 颯斗**  
同志社大学社会学部  
教育文化学科4年

2022.1.15 SAT.  
19:30～21:00 @Zoom  参加費無料!

卒業論文の研究内容を基に作成

- テーマは「大学で成長する学生」
- 自身の研究を振り返り、見直す機会になった

参加大学生からの嬉しい感想

- 「研究の内容をもっと知りたくなった」
- 「大学院進学後の話もぜひ聞きたい」

# 2月にFDフォーラムに登壇予定

## シンポジスト



**清水一彦氏** 山梨大学 理事・副学長 (企画・評価・内部統制)

### 経歴

1952年山梨県生まれ。専門は教育制度学、高等教育研究で博士(教育学)。東京教育大学、筑波大学を卒業・修了後、清泉女学院短期大学講師・助教授、筑波大学教育学系講師・助教授・教授を歴任。筑波大学で副学長・理事を6年間務めた後、2015年より山梨県立大学の理事長・学長に。2021年より山梨大学理事・副学長となり現在に至る。筑波大学名誉教授・山梨県立大学名誉教授。

### 主な活動、著書

『日米の大学単位制度の比較史的研究』(風間書房)や『平成の大学改革を斬る』(協同出版)など著書多数。文部科学省中央教育審議会大学分科会臨時委員、全国大学実務教育協会代表理事・副会長や日本教育制度学会会長など、活躍の幅も広い。  
また、山梨県立大学学長在職中の2019年5月23日、山梨県・山梨大学と連携協定を締結し「一般社団法人大学アライアンスやまなし」の設立(2019年12月18日)を牽引。その後、大学アライアンスやまなしは2021年3月29日に全国初の大学等連携推進法人に認定され、連携開設科目制度の活用により、多様かつ幅広い教養科目や関連領域の専門科目の充実が図られている。



**藤田 凜氏** 一般財団法人三菱みらい育成財団 常務理事

### 経歴

1960年生まれ、岩手県出身。東京大学経済学部卒。1983年三菱商事(株)に入社し人事第一部(4年)に。首都圏事業部、都市開発事業部で都市開発に従事(5年)した後、食料開発室(1年3か月)、業務総括部(9か月)を歴任し、1995年人事部に復帰。1998年より英国に駐在(3年半)の後、2002年1月人事子会社ヒューマンリンク(株)に転出、10月より同社社長(6年半)。2009年より人事部長(5年)、2014年総務部長(2年)、2016年東北支社長(3年)を経て、2019年4月新財団設立準備室長に。10月より現職。

### 主な活動、著書

三菱商事入社後は開発プロジェクトや人事関連の経験が長い。直近の約3年は三菱みらい育成財団常務理事として若者の教育関連に従事。



**瀬崎 颯斗氏** 同志社大学 社会学部 教育文化学科 4年

### 経歴

1998年北海道旭川市生まれ。研究分野は高等教育、大学教育開発。特に、高等教育における大学教員養成、プレFDに関心を持つ。2017年北海道旭川東高等学校卒業。2022年3月同志社大学社会学部教育文化学科を卒業予定。同年4月より東京大学大学院新領域創成科学研究科(修士課程)に進学予定。

その他、NPO法人日本教育再興連盟(ROJE)関西学生事務局、学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校・S高等学校TAインターンシップ、文部科学省スキームD 2021年度ピッチ・アクター等の教育実践活動に従事。

### 主な活動、著書

NPO法人ROJE関西教育フォーラム2019にて、企画代表・学生登壇者を務める。文部科学省スキームD 2021年 University Pitch and Conferenceにて、「大学院生の教育スキル向上を主目的としたオンラインコミュニティの設立」をタイトルに発表。

## コーディネーター



**山口 洋典氏** 立命館大学 共通教育推進機構 教授

### 経歴

1975年静岡県静岡市生まれ。専門は社会心理学。特にグループ・ダイナミクス。ネットワーク型まちづくり、災害復興、サービス・ラーニングなどをテーマにアクションリサーチを展開する。財団法人大学コンソーシアム京都事務局研究主幹、浄土宗徳興院主幹、同志社大学院総合政策科学研究科助教授・准教授を経て2011年度より立命館大学共通教育推進機構准教授。2020年度より現職。

2017年にデンマーク・オールボー大学で参加型学習を比較研究。

### 主な活動、著書

著書に『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』(法律文化社、共著)『はじめてのファシリテーション』(昭和堂、共著)など。2019年度・2020年度には立命館SDGs推進本部事務局長。2020年度より立命館大学教養教育センター副センター長

2/27(日)13:30~16:00

定員 1,000名  
(加盟校優先定員: 600名)

講義形式

Zoom  
ウェビナー

録画あり

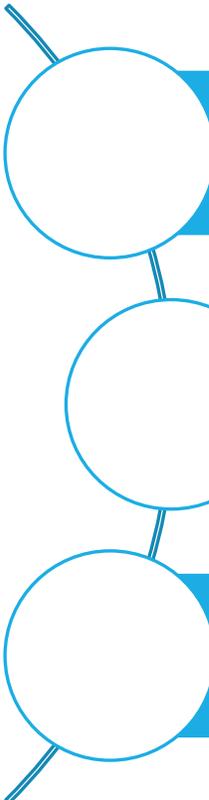
科目・教養・教員の未来  
~コロナ禍を経たこれからの大学教育を展望する

## 大学コンソーシアム京都主催 シンポジウム2

- 「プレFD」に関する発表機会をいただきました。
- 高等教育研究の知見、スキームDでの取り組み、学生なりの視点を交えて、お話ししてきます！

# これまでの3つの取り組み

---



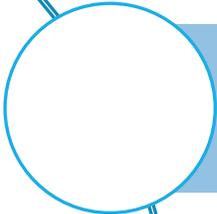
教育に関する知識・スキルの習得

オンラインの公開セミナー

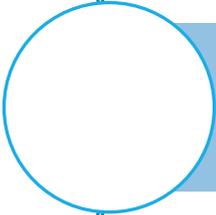
高校における探究学習の教材開発

# これまでの3つの取り組み

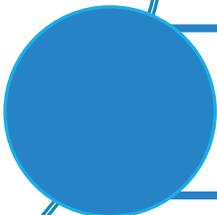
---



教育に関する知識・スキルの習得



オンラインの公開セミナー

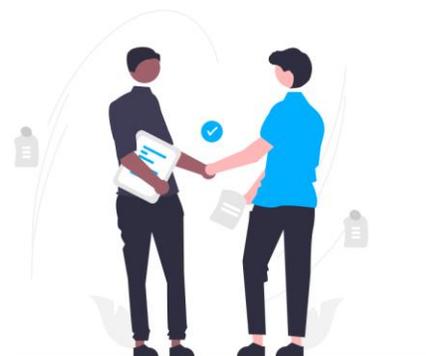
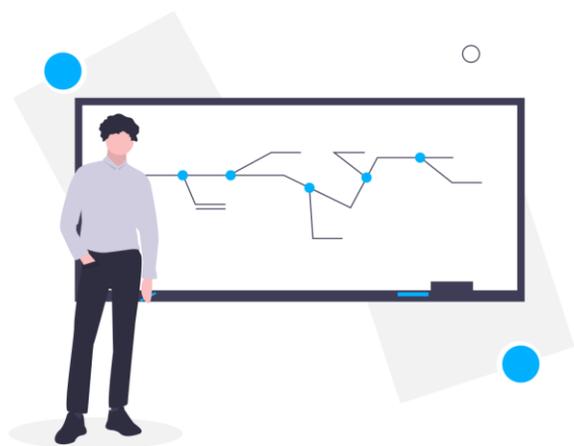


**高校における探究学習の教材開発**

# 高校における探究学習の教材開発

高校・企業との連携による横展開

研究手法・アカデミックスキル



例；

- リサーチ・クエスチョンの立て方
- アカデミック・ライティング
- アンケートの作成方法
- インタビューの方法
- 実験デザイン

単発の授業ではない、連続したコースデザインを行う機会

調査・研究の手法を学び、より高度な探究学習へ

# メンバー3人でシラバスを作成

全5回	内容
第1回	研究と勉強の違いとは？
第2回	自分の関心のある学問分野を知ろう
第3回	あなただけの問いを見つけてみよう
第4回	テーマにあった研究方法を考えてみよう
第5回	自分の「探究テーマ」を説明してみよう

## 作成したシラバス・授業案

## 全5回のシラバス・授業案

目標:「高校生のみなさんが、自分自身の興味関心を深めて、探究活動のテーマを説明できるようになる。」

### 授業案

#### 第1回 研究と勉強の違いとは？

- はじめに (10分)
  - 講師の自己紹介、授業全体の紹介 (目的・スケジュール)
- ワーク (35分)
  - ①研究者ってどんな仕事？ (20分)
    - 生徒に「研究者の仕事」から想像できるフレーズを書き出してもらう。形式：4人でグループトーク
  - ②研究者の名言穴埋めクイズ (15分)
    - 研究者の名言を紹介しながら、研究と普通の学校での勉強の違いについて考えてもらう。形式：クイズ&解説
- まとめ (5分)
  - 勉強は知識を消費する行為、研究は知識を生産する行為
  - 次回へのつなぎ (どの領域で研究 (=知識を生み出したい) か?)

# LearnWiz「授業ラボ」での実践共有

## 授業ラボ

### 高校における探究学習支援



吉田 壘

東京大学 大学院工学系研究科 准教授

2022.1.28 (金)

20:00-21:00

## シラバス・授業案検討会を実施

- Zoom参加約15名、YouTube視聴約130回。
- 高校教員2名、大学教員1名から連絡をいただき、現在ヒアリングを実施中。
- 吉田先生、中條さん本当にありがとうございます！

[Youtubeのアーカイブ動画リンク](#)

## 実際にいただいたコメント～良いところ～

学部生が大学院生の教育力向上を企画していることに深く感銘を受けました。  
文科大臣への報告が必要です。

主にインターネットで情報を収集して、意見を述べて終わってしまうという生徒も多い。

研究方法について体系的に学べる授業は、生徒だけではなく、高校教員のためにもなる。

## 実際にいただいたコメント～より良くできる点～

高校生は、「研究らしさ」や「テーマの大きさ」にとらわれて、身近なところから問いを立てることが難しい。

面白い問いを立てて研究しても、その過程を面白がってくれる教員が少ない。

大学院生が講義をするだけでなく、メンターとして問いを立てるサポートも必要になるのではないか。

### 3. 今回お伺いしたいこと

---

# いま現在悩んでいること

---

コミュニティとして、どんな活動に注力していくか？

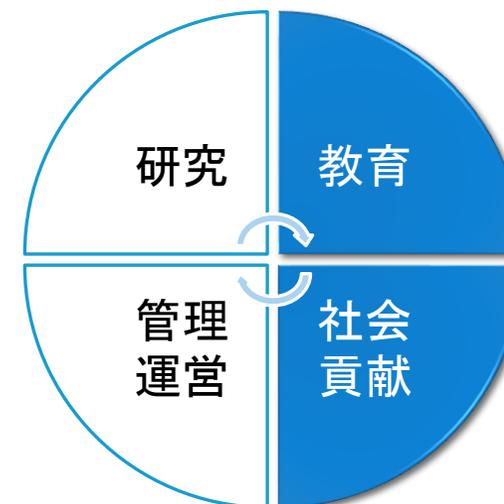
- 探究学習支援に本格的に参入していくべきか
  - 教育現場のニーズは一定数ある
  - メンターとしての関わり方や学校連携のコストが高い
  - 大学院生の教育力向上に本当につながるのか
- 他の活動があるとしたらどのようなものがありえるか
  - 研究発表・交流会
  - 教育について深く学ぶイベント
  - 授業ツールを使ってみるイベント など



# みなさんにお伺いしたいこと

大学院生のうちに培ってほしい能力・経験は？

- 特に、「教育」や「社会貢献」の観点で準備できることは？
  - 大学関係者の方：過去のご自身の経験や、現在の大学院生や若手の大学教員を見ていて思うことからのご意見。
  - 企業や行政の方：専門性の高い人材を採用する際や、共同でプロジェクトを進める際に思うことからのご意見。

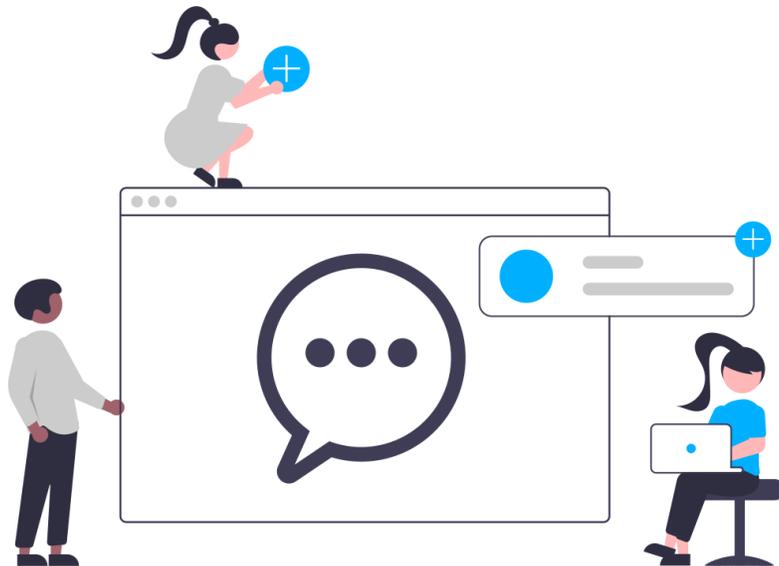


その他、活動に対するご質問・ご感想・応援メッセージ

# 今後のお問い合わせはこちらから

ご感想やアイデアをぜひお寄せください！

[お問い合わせ・ご意見収集フォーム](#)



# 参考文献・参考URL

---

- Coursera「東京大学 Interactive Teaching (インタラクティブ・ティーチング)」<https://www.coursera.org/learn/interactive-teaching> (最終閲覧日 2021年10月21日)
- 大山牧子・根岸千悠・佐藤浩章(2017)「SoTLに基づいた教育実践研究計画を作成するプレFDプログラムの試行と評価」『日本教育工学会論文誌』41:225-228
- 栗田佳代子(2020)「大学院生のための教育研修の現状と課題」『教育心理学年報』59:191-208
- 東京大学「インタラクティブ・ティーチング」<https://www.he.u-tokyo.ac.jp/activities/interactive-teaching/> (最終閲覧日2021年10月21日)
- 文部科学省(2019)「学校教育法施行規則及び大学院設置基準の一部を改正する省令の施行等について(通知)」  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/nc/1420657.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1420657.htm) (最終閲覧日2021年10月21日)
- 文部科学省(2021)「高等教育機関 学校調査 大学・大学院 4大学院の課程別設置者別学生数」『学校基本調査令和3年度(速報)』
- 文部科学省(2021)「令和元年度の大学における教育内容等の改革状況について(概要)」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/daigaku/04052801/1417336\\_00008.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1417336_00008.htm) (最終閲覧日2021年10月21日)
- 吉田壘・栗田佳代子・阿部卓也・鈴木祐介・松本侑子(2017)「図書館におけるミニレクチャプログラムの開発と評価」『大学図書館研究』107:1704.1-1704.11

# 大学院生の教育スキル向上を主目的とした オンラインコミュニティの設立

文部科学省スキームD 第2回定例会

2022年2月7日

ご清聴ありがとうございました！